

ヘモレオロジー・栄養・運動誌  
(日本ヘモレオロジー学会誌)

## 投稿規程

本誌は、ヘモレオロジー・栄養・運動・健康に関連する、基礎から応用に至るまでの優れた研究成果を、オープンアクセス誌として広く発信するものである。

### 1. 投稿資格

投稿は日本ヘモレオロジー学会会員に限らない。

### 2. 論文の種類

論文の種類は、(1) 原著論文 (2) 短報 (3) 総説、のいずれかとする。

#### (1) 原著論文

独立して完結した論文で、その内容は独創的なものであり、かつ科学的に価値のある新事実あるいは結論を含むもの。

#### (2) 短報

原著論文としてとまらないものであっても、独創的な研究の成果または結論を含むもの。

#### (3) 総説

関連分野の話題について、これまでの知見、研究業績を総括し、体系化したもので、原則、編集委員会からの依頼に基づく。原著論文・短報と同様に査読などの編集過程を経て掲載される。

### 3. 投稿方法

投稿は電子投稿（電子メール）とし、執筆要項にしたがって電子ファイルを作成の上、電子メールの添付ファイルとして本雑誌編集部（下記）に送付する。

編集部

〒154-8533

東京都世田谷区太子堂 1-7-57

昭和女子大学生生活科学部健康デザイン学科 渡辺 睦行

電話：03-3411-4945

E-mail: nakamich@swu.ac.jp

### 4. 原稿の査読

- (1) 投稿された論文原稿は、7日以内に編集委員によって審査され、その後、原則として2名以上の審査員によって査読される。査読の結果は、投稿から28日以内に投稿者へメールにて伝えられる。査読の後、筆頭著者あるいは責任著者（以下、著者ら）は査読者から投稿原稿の修正を求められることがある。
- (2) 修正を求められた場合、著者らは原稿を速やかに修正するものとする。
- (3) 修正原稿のメ切（通常は1ヶ月後とする）までに編集部へ改訂原稿が提出されない場合、投稿された原稿は再投稿とする。
- (4) 本雑誌への掲載の採否は査読の結果によって編集委員会が決定する。

## 5. 原稿の提出様式

原稿は次のものをそろえて提出する。(1)カバーレター (cover letter)、(2)表紙 (title page)、(3)本文 (main body)、(4)表 (table)、(5)図 (figure)、(6)図の説明 (figure legends)、(8)和文抄録 (abstract in Japanese)、(9)英文抄録 (abstract in English)。(1)~(8)は各々独立したファイルとして作成する。

## 6. 投稿・掲載料

投稿および査読過程において、投稿者（著者）の費用負担はないものとする。査読過程を経て、本誌への掲載が決定した際には、掲載料が生じる。掲載料は1論文につき非会員は3万円、会員は2万円とする。

## 7. 著作権

- (1) 本誌に掲載された著作物の著作権は、すべて本学会に帰属する。
- (2) 本誌に掲載された執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされた場合には、著者らはその責任を負う。

## 8. 倫理規定

- (1) ヒトを対象とした論文は、1964年のヘルシンキ宣言の方針に従って必要な手続きを踏まえる必要があり、著者または共著者の所属機関の倫理委員会、あるいは公的審査機関に申請・受理された研究内容でなければならない。
- (2) ヒトを対象とした研究で上記(1)に該当しない場合にはその旨を明記し、編集委員会に承諾される必要がある。
- (3) 動物を対象とした論文は、研究が実行された機関における倫理委員会の承認を得た後、動物実験倫理規定に従い実施しなければならない。

執筆要領

本雑誌に投稿する際は以下の要領に従う必要があり、これより逸脱した原稿は編集委員会の判断で受稿せず、修正を要請する。

#### 1. 用紙、書体および用語

(1) 横書きで、用紙はA4判（和文論文では36字×28行で、余白は上30mm、下25mm、左25mm、右25mm）とする。また、原稿の表紙からページ番号を下辺中央に印字する。なお、各ページの左側に行番号を印字する。

(2) 手書の原稿は受け付けない。本文の書体は、和文は明朝体、英文はCenturyとし、Microsoft Wordにて作成する。数字及びアルファベットは半角とする。

(3) 学名はイタリック体とする。

(4) 度量衡の単位は原則として国際単位系(SI)を用い、省略用のピリオドは付けない。

#### 2. カバーレター

著者は原稿とは別に編集部宛にカバーレターを付して投稿する。カバーレターの形式は特に定めないが、(1)論文表題（和名で表記する）、(2)責任著者名および所属・連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）、(3)投稿論文が他の雑誌に掲載および投稿されていない旨、(4)著作権が当雑誌に帰属すること、が明記されている必要がある。

なお、査読者の推薦を希望する場合には、カバーレターにその旨と推薦する査読者の氏名、所属、連絡先（メールアドレスまたは電話番号）記載することが出来る。なお、推薦される査読者は3人までとする。

#### 3. 表紙

(1) 原稿には表紙をつける。

(2) 表紙には、1)論文題名、2)著者名、3)所属名のそれぞれを和英両語で記す。さらに、4)希望する論文の種類、5)責任著者（correspondence）の氏名と連絡先（所属機関、所在地、電話番号、メールアドレス）、を記入する。表紙は複数頁にわたっても差し支えない。

(3) 異なる機関に所属する者が共著である場合は、各所属機関に番号をつけて氏名欄の下に一括して示し、その番号を対応する著者の氏名の右肩に記す。

#### 4. 本文

本文の構成は、原則「要約」「1. 緒言」「2. 方法」「3. 結果」「4. 考察」「引用文献」「英文要約」とする。

## 5. 引用文献

(1) 引用順に引用個所の右に上付き片括弧で番号<sup>1)</sup>をつけ、本文の末尾に一括して引用番号順に記載する。

(2) 文献記載形式は以下の通りとする。

1) 菊池佑二、菊池裕子、高橋千栄子、磯野厚子、水分摂取の全血通過時間に及ぼす影響、日本ヘモレオロジー学会誌 6, 41-46 (2003).

2) Yokokawa K, Kohno M, Minami M, Yasunari K, Mandal AK, Yoshikawa J, Heparin suppresses cyclosporine-induced endothelin-1 synthesis in rat endothelial cells., J Cardiovasc Pharmacol, 31, 460-463 (1998).

3) 単行本の場合は、上記の雑誌名の箇所へ書名、出版社および出版地を記載する。

## 6. 表と図

表、図には英語でそれぞれ通し番号 (Table 1、Fig. 1) を付ける。図の説明 (題名、詳しい説明文など) は英語で別紙にまとめて記す。

## 7. 要旨

(1) 和文要旨は 400 字以内、英文要旨 (abstract) は 200 語以内とする。なお、英文要旨は、ネイティブによる校正を必ず受ける。

(2) 和文要旨の後には日本語の、英文要旨 (abstract) の後には英語のキーワード (Key words) をそれぞれ 5 語以内で記す。

## 8. 電子投稿の要領

(1) 電子投稿する原稿は、添付ファイルとして電子メールで送付する。

## 9. その他

(1) 投稿原稿の内容が倫理的配慮を必要とする場合は、必ず「方法」の項に倫理的配慮や研究対象への配慮をどのように行ったかを記載する。

(2) 考察の後に謝辞の項を設けることが出来る。企業・団体からの研究費助成などの支援を受けた場合 (利益関係の相反) は、ここにその旨を記載する。